

IDN ccTLD導入に向けた活動について

2007年7月23日
第19回ICANN報告会

株式会社日本レジストリサービス (JPRS)

堀田博文

hotta@jprs.co.jp

<http://堀田博文.jp/>

目次

- ccTLDにおけるIDN TLDの議論経緯
- ccNSOの基本的な考え方
- APTLDの声明
- 課題とその解決策案

ccTLDにおけるIDN TLDの議論経緯

- 2006年6月 (マラケシュ)
 - IDN TLDに関するGNSOの課題レポートの内容共有
- 2006年10月
 - ccNSO IDN-WG創設
- 2006年12月 (サンパウロ)
 - ccNSOにおいて、ccTLD観点での課題について議論
 - ccNSO IDN-WGのチェアが決定 (TWNICのDr. Liang)
- 2007年3月 (リスボン)
 - ccNSO-GAC 課題レポートのドラフト
 - ccNSOにて課題の共通理解を上げるための議論
 - ccNSO IDN-WGにて課題への回答案の議論
- 2007年6月 (サンファン)
 - ccNSO-GAC 課題レポート最終版合意
 - ccNSOにおいて課題の解決策案の議論
- 2007年10月 (ロサンゼルス)
 - ccNSOにおいて課題の解決策のコンセンサスに向け議論

ccNSOの基本的な考え方

- **ファストトラックによる限定的IDN ccTLD導入**
 - 現ASCII ccTLDに対応する国/地域が、1つのIDN ccTLD文字列を選択
 - 一般的な解は、さらに検討を進める
- **選択された文字列に対してレビュー/異議申立て/反論することができるよう、パブリックコメント期間を設ける**

APTLDの声明



Asia Pacific Top Level Domain Association

APTLD Position on Top Level Internationalised Domain Names

June 21, 2007

<http://aptld.org/position/>

APTLD%20Position%20on%20Top%20Level%20Internationalised%20Domain%20Names%20-%20June%2021%202007%20v6.pdf

- CENTRが支持を表明
- AFTLDとLACTLDが、支持表明を検討中

Position

APTLD Recognises the policy, administrative and remaining technical challenges in establishing IDNs at the top level of the Internet DNS.

However, we also recognise the Billions of people in the Asia Pacific region who are denied the basic information and voice provided by the Internet simply because of their lack of knowledge of a foreign character set.

So that ccTLDs in the region can better serve their indigenous peoples, APTLD urges ICANN to rapidly implement a limited introduction of top level IDNs by taking the following two, simple steps:

1. Allow each existing ccTLD to manage one additional country or territory specific ccTLD in a recognised non-ASCII script of their country or territory. The name will be determined by the ccTLD's local Internet community. *APTLD recognises that this will not meet the demand for a few ccTLDs with multiple non-ASCII scripts and we will actively pursue the policy development solution to meet their needs too.*
2. Manage a six-month comment period for the international community to lodge substantive objections to the names chosen as not being relevant for the ccTLD. *This will ensure that spurious names are not chosen.*

Background

APTLD is the regional organisational body for ccTLDs operating in the Asia Pacific Region. This region has nearly 4 Billion people, or 60% of the global population. Yet, we have just over 400,000,000 Internet users – less than 40% of the global users.

The region is also home to most of the world's non-Latin based written languages and also home to most of the world's population who are literate in non-Latin based languages.

The delay in empowering the people of the region is not acceptable and we couldn't imagine North America or Europe tolerating any delay should the roles be reversed.

Many ccTLD managers in the region have already implemented IDN's into their existing Latin based ccTLD. However, this does not fully address the need of our communities.

課題とその解決策案

Discussion on

ccNSO-GAC IDN Working Group
DRAFT FOR DISCUSSION (Version 2)

ISSUES PAPER

Selection of IDN ccTLDs associated with the ISO
3166-1 two letter codes

June 26, 2007

ccNSO meeting in San Juan

formal consensus has not been reached

IDN ccTLDは、どういう国単位に与えるか？

回答案:

- 現ASCII ccTLDに対応する国(*)に与えるべき。

(*) 実際には、ccTLDは「国または地域」に対応しているが、ここでは便宜上「国」と記すこととする

コンセンサスがとれそう

IDN ccTLD文字列は意味ある文字列であるべきか？

回答案:

- Yes.

<理由>

- IDN ccTLD導入の主要な動機のひとつは、そのccTLD表記を、そのスクリプトを使う人々に理解しやすいものにする事である。したがって、IDN ccTLD文字列は、その国を表す意味を持ったものにすべきである。

コンセンサスがとれそう

各国の各スクリプトに対し、いくつかの IDN ccTLD?

さらなる議論が必要

- 国によっては、1つのスクリプトで2つ以上のIDN TLD文字列が欲しいところもあるだろうことは理解する。たとえば、2つの言語が同じスクリプトを共有していて、かつ、それら言語で国の名前の表記が違ふときなど。
- しかし、迅速に導入を進めるため、第1フェーズでは、1スクリプトについて1つのIDN ccTLDだけとする。
- この制限は、第1フェーズのあとで、再検討する。

国毎に幾つのスクリプト?

更なる議論が必要

- 各国でのスクリプト数を決めたり、あるスクリプトが公用であるかどうかを定義するのは簡単でない。
- 第1フェーズでIDN ccTLDの数を制限することは、延々と続く議論を回避する助けとなる。
- この制限は、第1フェーズのあとで、再検討する。

文字列に含まれる文字数?

回答案:

- 文字数は固定値に規定すべきではない。国毎に決めるべきである。

<理由>

- 文字列の長さを制限することは、IDN ccTLD導入の主要な動機のひとつである「IDN ccTLD文字列が意味を持つこと」を損なう可能性がある。
- いくつかの言語では、ある文字列の中の文字数を定義すること自体困難である。
- すべてのスクリプトで略記が使われているわけではない。

コンセンサスがとれそう

スクリプトに対する権利というものは存在するか？

さらなる議論が必要

- 多くの場合、言語コミュニティというものを正式に定義することは、少なくとも短時間ではできないであろう。したがって、IDN ccTLD 導入において言語グループによる承認というものは期待できない。
- 文字列の承認に対してレビュー/異議申立て/反論することができるようなパブリックコメント期間を設ければ、適切な言語コミュニティからのインプットも得ることができるであろう。
- しかし、言語コミュニティが定義できる場合で、かつ、あるスクリプトがその言語でしか使われていない場合、その言語コミュニティが何らかの「権利」を主張することが考えられうる。

IDN ccTLD文字列のリストは第三者により強制的に決められるべきか?

回答案:

- No. 各国が好きなccTLD文字列を定義できるべき。

<理由>

- IDN ccTLDは、国単位のマターであり、その有用性や意味も地域コミュニティ固有のものである。
- 各国は、ローカルコミュニティとして有用な文字列を選択するのがよい。
- 提案されたccTLD文字列に関する問題をいぶり出すために、文字列の承認に対してレビュー/異議申立て/反論することができるようなパブリックコメントプロセスが必要であろう。

コンセンサスがとれそう

強制的なリストが無い場合は、誰が国毎の文字列を決めるのか？

回答案:

- 直前のQ/Aに同じ。

<理由>

- 本課題は直前の課題と密に関連していて、同じ回答となる。

コンセンサスがとれそう

色々な役割の者がどういう協力をすべきか？

回答案:

- 世界規模での協力関係の構造を事前定義すべきではない。

<理由>

- 少なくとも第1フェーズでは、IDN ccTLD文字列の決定において、その国内での協力を進めるべきである。
- 文字列の承認に対してレビュー/異議申立て/反論するためのパブリックコメント期間があり、また同じ名前が複数の国から提案されたときの解決プロセスがあれば、一定のレベルでの世界規模での協力関係を補完することが可能であろう。
- 第1フェーズのあと、先のフェーズでの正式な協力関係のありかたについてさらに検討する。

コンセンサスがとれそう

IDN ccTLDには誰が応募し、誰が管理者になれるか
そして 誰が管理者を決めるか

回答案:

- そのルールも、ローカルに決めるべき。

<理由>

- 第1フェーズでは、今のccTLD管理者が対応するIDN ccTLDも管理するというのが最も簡単な方法である。
- 今のccTLD管理者以外が管理者になる場合は、通常のTLD委任プロセスを経ることになる。

コンセンサスがとれそう

複数の提案があったとき、提案への反対意見があった時、紛争があったとき、の解決ポリシーやプロセスは必要か？

回答案:

- Yes.

ICANN理事会等、誰かが提案されたIDN ccTLDがTLDとして正式導入されるべきかどうかを決める最終権限を持つべきである。

<理由>

- 複数の提案で、文字列が同じだったり非常に似ていたりする可能性がある。ある提案に対して、第三者が異議や反対を唱える可能性もある。これらの問題を解くためのメカニズムが新gTLDと同様に決められるべきである。

コンセンサスがとれそう

IDN ccTLDの管理・運用はASCII ccTLDと違って、特別の技術要件を満たさねばならないか？

さらなる議論が必要

- IETFやICANNの技術要件およびガイドライン以外に何か従うべきものはあるのか？
- たとえば、既存TLDへの別名付け(aliasing)による新しいTLD導入と、全く新しいTLD空間の導入では、異なる技術要件があるのかもしれない。